

2024年春渡航



英語を話すための土台を学び、自分の人生に刺激を与える2週間でした！

工学部 情報通信工学科 2年 田中 陽弥さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可 派遣先: グアム・UOG

この2週間は自分にとって、これから先も大事な出来事になると思います。このように思えるぐらい刺激的な2週間だったと感じています。

もともと英語が好きでいつか海外に行ってみたいと思っていました。ですが、気が付けば2年生になってしまい、この先忙しくなるだろうと思い参加をしました。グアムを選んだ理由は日本から近いからです。アジアも近いですが、以前に芝浦のプログラムでアジア圏の人と会話をする機会があったので今回はアメリカを選びました。また、費用も他と比べて安かったのも決め手になりました。

研修内容は午前、午後、どちらも3時間ずつやりました。初日に先生と面談をし、そのあと2グループに分けられて、2週間の授業が始まりました。僕らの先生は毎回グアムの食べ物を持ってきてくれて、それを食べて自分で感じたことをみんなにシェアすることが多かったです。よく、5感を使えと言っていました。ほかには、新聞記事から一つ話題を選び、それを要約するなどをやりました。もう一つのクラスはグループ活動がメインでやっていたそうです。先生は基本的に全員に聞こえるように話してくれるのであまり聞き取れないということはありませんでした。

この2週間を通して自分に足りないなと感じたのは自信と声の大きさです。日本人は静かなのでよく「Don't be shy」と言われました。言いたいことがあってもなかなか言い出せないことが何度かありました。英語を喋っている人は大体声がかいです。そこも日本人との違いなのかなと思いました。

新しいことをやってみたいや自分の視野を広げたいと思っている人は参加したほうがいいと思います。行く前は不安でしかなかったけど、帰ってきた今とても行ってよかったと思っています。いろいろな考え方を持った人たちに出会えていい経験になり、英語を使って会話をするのが楽しいと思えるようになりました。



授業で使用される言語が英語のみだったので、聞き取り能力が向上しました。また、英語を話す抵抗感も軽減しました。

工学部 機械機能工学科 1年 茂木 瑛嗣さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：グアム・UOG

英語を話す機会が少なく、自身のSpeaking能力に不安がある状態で語学研修に参加しました。英語を話さざるを得ない状況に身を置くことによって、能動的に英語を話す、クオリティーが低い状態でも恐れずに英語を話してみる、ためです。

滞在期間中は、月曜日から金曜日に9:00-15:45まで授業でした。しかし、2週間の平日がすべて授業ではありませんでした。UOGの学園祭のようなものに参加したり、アイランドツアーといった、非常に景色の良いスポットを巡りまわったり、Beach dayといい1日中海のそばでアクティビティやココナッツを割ったりするような体験をしました。

授業内容は、発表やグループワークが多く、それ自体も英語でやる必要があるため、自分の言いたいことを英語で言語化するという、日常生活ではやる機会が少ないことをしました。初心者向けの内容なので、英語で工学や数学を勉強するというわけではなく、勇気をもって英語を話すことを目的としているように感じました。

現地の学生ボランティアとして来てくれた方々は、非常に優しくフレンドリーであるため、英語を話すことに抵抗があった私でも、下手ながら積極的に話すことができました。芝浦から一緒に参加した方々は、他学年他学部他学科であったため、交流がないような方々と仲良くなれたことも非常に良かったです。

今回の留学に参加した経験を生かして、芝浦にきた留学生のための学生ボランティアに参加したいと強く思うようになりました。将来を見据えた時に、大学院まで進学するだけでなく、海外へ留学するという選択肢を持つことができたので、非常に有意義な経験になりました。



一度は英語を使用する環境に身を置くべき！

システム理工学部 機械制御システム学科
4年 池田 賢さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：グアム・UOG

私は1年生、2年生の時に留学を考えていましたが、コロナ期に重なってしまい留学することができませんでした。そのため、学部生最後の休みを利用し短期間かつ費用が多くかからない2週間のUOGプログラムを選択しました。

2週間の語学研修では、最初の1週間はイベントやフィールドワークを主に行いました。夕方にタモン地区で行われるチャモロビレッジで買い物や夜ご飯を楽しみました。また、UOGの創立祭とプログラム期間が重なったため創立祭に参加することができました。UOGの創立祭では、学生による様々な体験ブースの出店、現地の人による飲食店の出店、チャモロ民族のダンスなどがあり、とても面白かったです。授業においては、午前9時から昼休憩の1時間半をいれて午後4時まででありました。授業形態は、習熟度にわかれて2つの教室で行われました。主にグループワークで出題されたトピックについて考え、考えたものをクラスメイトと先生に向かって英語で発表するものでした。初めは発表に慣れていなかったため緊張しましたが回数を重ねるごとに慣れていきました。そのため、あまり心配はいりません。お昼休みは、語学研修に参加した生徒とUOGの学生ボランティアで食事をとりました。英語で会話しながら食事をしたりUNO、トランプやボール遊びをして英語での日常会話にも学校内で触れることができました。

私は、この2週間のプログラムでグアムの学校やグアムの繁華街に行き、生活をしました。初めてのグアムの滞在だったためわからないことがたくさんありました。そのため、人に聞かなければ動くことができないことが多々あり、積極的に人に尋ねるという経験を多くしました。そのおかげで疑問に感じたことは、誰に関わらず人に聞くという姿勢の大切さを知り、身に着けることができました。人に尋ねるということは、語学研修の間において英語を使用するということにつながるため、一石二鳥な経験でした。

語学研修は、英語力の向上のみでなく自分の考え方や行動にも良い変化がでると思います。そのため、参加することに迷っている学生は、語学研修に参加するべきです！

外国でたくさん英語で会話することで、英語への抵抗感と苦手意識が軽減されました！

建築学部 建築学科 1年 上垣 文美さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：グアム・UOG

私は中学時代からずっと英語に対し苦手意識があり、高校以降は英語の勉強から逃げるように生きてきました。大学に入ってから英語の授業で先生が話す英語が理解できないからと授業から逃げるようになり、思うように単位も取れませんでした。ですが英語の学習は必要不可欠であるということは自覚しておりましたので、こんな自分を変えたいと思い、思い切って語学研修に参加することにしました。渡航先にグアムを選んだのは、語学研修プログラムの中で最も初心者向けであるという側面が大きかったからです。

平日はグアム大学で英語の授業に参加するのがメインでしたが、前半の1週間には、グアムの絶景ポイントやチャモロビレッジというナイトマーケットをまわるアイランドツアーやビーチデイなど多くのイベントが用意されており、語学研修でありながらもしっかりグアムを満喫できるプログラムとなっております。平日は毎日昼食時にグアム大学の学生さんが私たちに積極的に話しかけてくださり、つたない英語ながらも仲良くなることが出来ました。土日は休日となっておりますので、パラセーリングをするなど海でのアクティビティを満喫できました。

大学の授業で英語を話す機会が多かったのはもちろんですが、グアム大学の学生さん、スーパーで急に話しかけてきた現地の方、タクシー運転手さん、などなど日常生活で英語を話す機会が多かったことが、私自身の大きな成長に繋がったのだと思います。2週間は語学研修としては短期間ではありますが、英語への苦手意識を減らすにはちょうど良い期間であったと感じます。この経験をもとに今後とも英語の学びを続けていきたいと思っております。

英語学習やアクティビティで充実した2週間を
過ごすことができました！



システム工学部 数理科学科
2年 西山 力也さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： グアム・UOG

数あるプログラムの中で、グアムは初心者向けとあったので、英語力に自信がなかった私にぴったりだと思い、グアムを選びました。グアムまで飛行機で約4時間弱と近く、時差も1時間しかなかったので着いたその日から無駄にすることなく過ごすことができました！

渡航前は、平日は英語の授業のみを受けるのかなと思っていたのですが、島一周ツアーやビーチデイ、ナイトマーケットなど平日にも様々なプログラムが用意されており、観光や現地の人たちとの交流もできました！休日は自分たちで現地のツアーを予約して、パラセーリングなどマリンスポーツを楽しみました。授業の日だけでなく、買い物やご飯を食べに行くときなど常に英語を使う環境にいたので、自然と英語力が向上しました！また、ホテル内に日本人のスタッフがいたので、困ったことがあったときに、気軽に相談し、アドバイスをもらうことができました。

この2週間で学年や学部学科関係なく、色んな人たちと仲良くなることができました！ホテル内では、プールや卓球、ビリヤードのコーナーがあり、みんなで遊びました。部屋では一緒にゲームをしたり、期間中に誕生日を迎えた子の誕生日会をやったりなどあっという間に2週間が経ちました。渡航する前は、2週間の短期留学では旅行気分が終わって、そんなに英語も身につかないと思っていましたが、普段は英語の授業が週1,2回ほどしかないのに比べて嫌でも毎日英語を使う環境は、濃密で実りある経験となりました。なによりも間違いを恐れず英語を口にすることができるようになり、今後の英語学習においても前向きに頑張れそうです。貴重な機会をありがとうございました。

グアム大学の学生や先生方と
積極的にコミュニケーションをとり、
充実した日々を過ごすことができました！

デザイン工学部 デザイン工学科 1年 前川 紗椰さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：グアム・UOG

UOGでの2週間の生活はとても充実したものでした。私にとって海外に行くのは初めてではなかったのですが、久々の海外ということもあって緊張気味でした。しかしグアムの方々はとても優しく温かいばかりでした。そのうち緊張していたことも忘れ、現地の学生に自分から話しかけに行ったり、逆に話しかけてもらえたりして仲良くなっていき、共通の趣味があるとそれについて熱く語り合ったりもしました。

また、私の英語のクラスでは主に個人作業かペアワークがほとんどでした。個人作業といってもお菓子やグアムならではの食べ物などを五感を用いて英語でどう表現できるかといったワークには斬新さを感じました。いつもならおいしいだったりアメリカ独特の甘さに驚く程度の単純な感想を持つことがほとんどでした。しかし、1つのものにどれだけの感想を持てるのかというのは自身の英語のボキャブラリーや引き出しを多くするうえで大切だと感じ、実際に友人のものを聞いてそういう言い回しもあるのかという新たな発見もあってとても面白かったです。

一方、休日にはビーチやモールに出掛けることが多かったです。特に夕日とビーチの美しさに圧倒され、時間を忘れるほどでした。また現地の学生と仲良くなれたため、その学生の案内でホテルから少し離れた場所にあったKマートやグアムプレミアムアウトレットなどに連れて行ってもらうことができました。休日も自分たちだけで動くことばかりでなかったため、留学していると実感することも多かったです。

グアムは日本人の観光客も多く、日本人に対しての理解が比較的高い国だと思います。そのためあまり気負いせずに留学を楽しむことができました。自分の英語力が低い・高いなどはあまり関係ありません。とりあえず英語を使ってみることで話ができるということを経験したことが今回のUOGでの2週間で学んだことの1つです。

学部学科を超えて共に協力して過ごすことができた2週間でした。いい友人とも巡り合え、一瞬ではありましたが、とても貴重な経験ができた最高の2週間でした。

2024年春渡航

📷 デザイン工学部 デザイン工学科 1年 前川 紗椰さん

▼文化体験で作ったヤシの葉編み



▼ハードロックカフェで食べたハンバーガー



▼ホテルからの風景



▼タモンビーチ



▼Beach Day



▼Chater Day



最高の思い出になりました！
自由度が高く、誰でも楽しめることが出来る
と思います！

建築学部 建築学科 UAコース
2年 上田 遥希さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 不可 派遣先：グアム・UOG

私は今後社会活動をしていく上で、英語力の重要性は理解していたのですが、英語学習を思うように進めることが出来ずにいました。そこで、楽しみながらも学習時間を確保することができる語学研修に参加することを決意しました。その中でもグアムは2週間と短期間で日本人も比較的多いため、不安感をあまり抱かずに気軽に励めると感じ選びました。

語学研修期間中は、平日は午前3時間、午後2～3時間の英語授業を受ける形でした。基本的に英語のみで日本語を話すことはできませんでしたが、アメリカ人の先生がとてもフレンドリーに進めてくださったので英語の苦手な私でも安心して受けることができました。4～6人のグループをつくり、出されたお題についてのディスカッションや日本の昔ばなしを6コマの紙芝居形式で説明するなどのことをしました。英語力の他にも仲間と協力して遂行する力、リーダーシップをとって他の人を動かす力も養うことができたので、良い経験ができたと感じています。

英語の授業の他にも、ビーチに海と夕日を見に行ったり、グアム島の観光スポットを巡るアイランドツアーをしたりと遊ぶ時間も十分にありました。放課後には、ホテルからショッピングモールまでのバスが出ており、普段出来ない高い服や靴、ブランド物を見たり買ったりしてとても充実した2週間でした。

少し長いかなと思っていた2週間でしたが、終わってみればもう1、2週間ほどグアムにいたかったです。一緒に留学した仲間も本当に良い人達ばかりで、日本に帰ってきてからも一緒に遊んだりする仲です。英語力を高めたい方はもちろん、大学で良い思い出をつくりたいと思っている方もぜひ留学をオススメします！

2024年春渡航

📷 建築学部 建築学科 2年 上田 遥希さん

